
繋いだ手

亜子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

繋いだ手

【Nコード】

N1382D

【作者名】

亜子

【あらすじ】

自分に自信が持てずに過ごした18年間。大学入学を機に、自分を変えたいと思った。そんな中、大好きな人が出来た。でも…

繋いだ手

私から離れたはずなのに

もう一度　あなたと手を繋ぎたい

人見知りが激しく

自分に自信が持てずに過ごして来た18年間

そんな自分を変えたくて

大学の入学と同時に

イベントコンパニオン　の仕事 시작했다

その中で　偶然にも同じ大学に通う友達に会い　偶然にも彼女

に会ったその日に　今でも思い出にはなってくれない　彼を紹介

介された

これから先も出会うことはない　そんな世界の違う人だった

だけど　人見知りの激しい私が

嘘みたいに　親しみやすく

居心地が良いと感じる

そんな彼だった

1歳上とは思えない 自信に溢れた姿
自分にはないモノを持っている彼

私が彼を好きになるのに 時間はかからなかった

彼からの告白で 初めての彼氏が私にも出来た

大好きな人というだけで

こんなにも温かい気持ちになることを 初めて知った

大好きな人というだけで

こんなにも優しい気持ちになることを 初めて知った

繋いだ手が こんなにも温かいことを 初めて知った

一人の人に こんなにも気持ちを振り回されることを 初めて知った

私にとって 全てが初めてのことばかりだった

好きって気持ちも

感じた思いも

ありのまま伝えてくれていた彼

だけど 彼に会えない時間に比例して
どんどん不安になって

周りの噂に振り回されて彼の気持ちを信じる事が出来なくなっていた

抱き合うだけじゃ 私の中の空白が埋まることはなかった

そんな私の気持ちを知ってか知らずか

「結婚するかもなーお前と」

の言葉も 本当に嬉しかった 嬉しいけど
素直に受け入れることができなかった

いつも不安がつきまとい

一人で勝手に結論を出して

自分の中に線を引いてしまった

「俺が信じられへんの？」 信じたい 信じたいけど
信じる為に必要な 自信がない

あるとき ほんの少しの自信があれば
今、彼と一緒にいることができましたか？

私に ほんの少しの勇気があれば
今とは違った未来が待っていましたか？

ほんの少しの強さがあれば
彼を 好きだった彼を
自分の手で離すことはなかったですか？

彼が活躍する姿を見るたび

「自分に自信もって」

と言って 背中を押してくれていた彼を思い出してしまっ

信じることが出来なかった自分の弱さを後悔するばかりで

こんな私を

「ほんま好きやし」

と言ってくれていた彼を

忘れることができない

人を好きになる気持ちを

教えてくれた人

私を 成長させてくれた人

人を好きになることで 涙が流れることを教えてくれた人

いつぱいの愛を 私に与えてくれた人

縁があれば 何度でも出逢える

私に もう一度だけチャンスを下さい

あのと き 彼に言えなかつた言葉を伝えたい

私もあなたが大好きです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1382d/>

繋いだ手

2010年11月28日08時09分発行